

Welなかがわ

WellはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

令和
3年度

賛助会員募集のお願い 及び 令和2年度実績報告

第84号

発行/2021.6

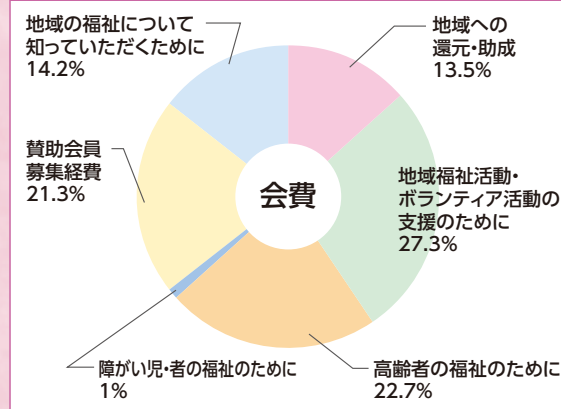
中川区社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めるために賛助会員を募集しています。皆さまからご協力いただいた賛助会費は地域の様々な福祉活動に活用させていただきます。

年会費	個人会員	法人・団体会員
	1口 1,000円	1口 5,000円

令和2年度実績 賛助会費収入額 8,596,240円

内訳 ■個人会員 7,177,240円 ■法人会員 1,419,000円

令和2年度賛助会費の使い道



地域への還元・助成(4次計画オープンカフェ)



地域への還元・助成(地域の底力を応援)



地域への還元・助成(推進協事業)



高齢者の福祉のために(寝具洗濯乾燥サービス)

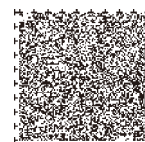
本年度もみなさまのご理解とあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

※賛助会員への加入は強制ではありません。本会の趣旨にご賛同いただける皆さまのご協力をお願いいたします。

今号の内容



令和3年度 賛助会員募集のお願い及び 令和2年度実績報告	1	中川区地域支えあい事業リポート!	4・5
令和3年度 事業計画	2	正色学区連絡協議会	6
中川区「地域の底力を応援」助成事業のご案内	3	生活安全委員会で様々な取り組みが始まっています!	6
人生の達人帖(コロナ禍特別版)を作成しました。	3	令和3年度 サマーボランティアスクールは中止します	6
		寄付のお礼	6



SPコードを載せました。

令和3年度

中川区社会福祉協議会

事業計画



① 地域福祉活動の推進

- ★地域福祉推進協議会活動への助成・支援
- 地域支えあい事業(市委託事業)の実施
- 高齢者等サロンの整備等推進事業(市委託事業)の実施
- ★プレゼンテーションによる地域福祉活動への助成
- ★民生委員児童委員協議会始め福祉関係団体等実施事業への助成

② ボランティア活動推進事業

- ボランティアセンターの運営(ボランティアに関する相談、ボランティア保険の受付等)
- ★初級手話講座の開催
- 学校等における福祉教育への支援

③ 高齢者福祉事業

- 高齢者はつらつ長寿推進事業(市委託事業)の実施
- ★ふれあい給食サービス事業への助成・支援
- ★高齢者寝具洗濯乾燥サービス事業の実施
- 学区敬老行事への助成
- ★老人クラブ実施事業への助成

④ 障がい者福祉事業

- 車いす・車いす対応車・福祉用具等の貸出
- ★特別支援学級・学校卒業生への祝い品の贈呈
- ★障がい者(児)関係団体実施事業への助成

⑤ 児童福祉事業

- ★子ども会活動、保育園、留守家庭児童育成会等の実施事業への助成
- ★保育所卒園児への祝い品の贈呈
- 子ども食堂の支援

⑥ 中川区在宅サービスセンターの運営

- 研修室・ボランティアルームの貸出

⑦ 広報啓発事業

- ★広報紙Welなかがわの発行
- ホームページ、ブログ(なかがわ和輪話)、動画による情報の発信
- 中川区在宅サービスセンターにおける各種チラシ・情報紙等の配布

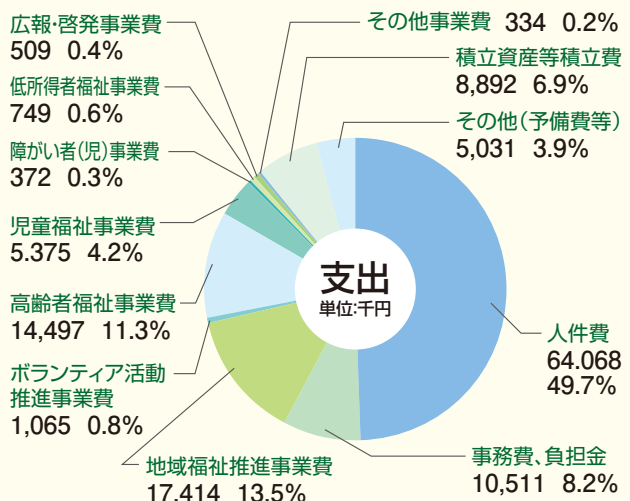
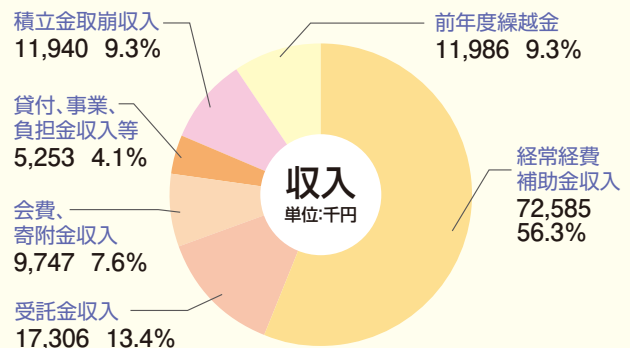
⑧ 第4次地域福祉活動計画

- 中川区地域福祉活動計画推進委員会の開催

⑨ その他の取り組み

- 生活福祉資金の貸付【愛知県社協協力事業】
- 地域包括ケア推進会議、障害者自立支援連絡協議会など関係組織への参画
- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力
- 中川区西部いきいき支援センター・中川区介護保険事業所への運営協力

令和3年度 収支予算 総合計 128,817,000円



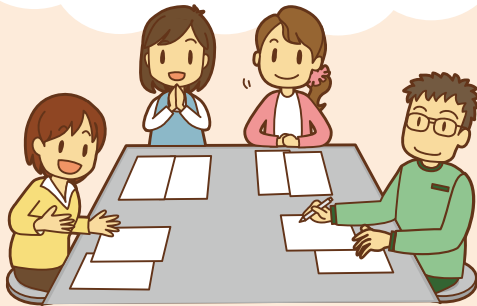
- は賛助会費を財源とした事業です。
- ★は共同募金配分金を財源とした事業です。



中川区

「地域の底力を応援」 助成事業のご案内

地域の方が取り組んでいる
福祉活動やボランティア活動に対し、
皆さんからいただいた
赤い羽根共同募金や賛助会費を
財源に助成をする事業です。



助成対象

中川区内で、6ヶ月以上福祉活動に取り組んでいる
NPO法人、ボランティアグループ・サロンなど

本会から他の助成を受けているまたは予定のある団体は除く。
原則、下記の公開プレゼンテーションへの出席が必要。

助成種類

- ①はばたき事業助成(新規・拡充、発展的事業助成)
1団体(1事業)あたり 100,000円(上限)
- ②ささえあい活動助成(住民参加型福祉活動助成)
1団体 50,000円(上限)
※ただし、いわゆるサロン活動については1団体 20,000円

申請方法

6/30(水)までに、所定の様式に必要事項をご記入の
うえ添付書類を付けて、中川区社会福祉協議会へお申し
込みください。事業案内や申請書は、社会福祉
協議会や区役所等の公所にあります。また、
本会ホームページからダウンロードできます。
詳細は、そちらをご覧ください。

審査方法

書類・公開プレゼンテーションによる審査
令和3年7月19日(月)13:30～(予定)中川区役所 講堂
※審査員へのアピールタイムが設けられますので、原則ご出席ください。



人生の達人帖(コロナ禍特別版)を作成しました。

中川区では、高齢者の生活支援ニーズの把握や情報の見える化、生活支援活動の拡充に向けたネットワークづくり、企画立案を行う「中川区生活支援連絡会」を開催し、高齢者が地域で日常生活を送るために必要なサービスやお互いに助け合う地域の取り組みなどをまとめた「人生の達人帖(高齢者生活支援ガイドブック)」を発行しています。

今回は新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」と言います。)拡大の影響を受けて、引きこもりがちになり、中には必要な外出をも控えてしまい体調を崩されるケースが複数報告されました。そこで、感染症のリスクやワクチン、フレイルの進行、工夫して続けた地域活動などについて簡単にまとめたパンフレットを作成しました。

このパンフレットは、高齢者のご家族や生活を支援する関係者等に活用していただくよう、区役所・支所、保健センター、いきいき支援センター、社会福祉協議会で配架しています。



Webでも閲覧できます。

URL <https://www.city.nagoya.jp/nakagawa/page/0000108829.html>

事例の数	困りごとの種類
1位	健康管理
	電車やバスでの外出
2位	家族や友人との交流
	ボランティア・地域活動
3位	体操・運動
	買い物

生活支援連絡会での事例報告



意見交換の
様子

散歩や買い物、通院など、必要以上に外出を控えることで、より大きな問題につながることもある。

人が集まる機会が減り、正確な感染予防や生活に関する情報が届いていないこともあるので、支援者や周囲の方だけでなく遠方の家族も情報を届ける、つなげる役割を意識することが大切ではないだろうか。



中川区地域支えあい事業レポート！

「地域支えあい事業」を5年間実施した 3学区に感謝状が贈呈されました



中川区では平成26年度から名古屋市の委託を受けて「地域支えあい事業」を実施しています。地域支えあい事業を継続して取り組まれてきた常磐学区、昭和橋学区、千音寺学区の3学区の地域支えあい活動連絡会議及びご近所ボランティアのみなさまに対して、長年のご尽力に感謝して名古屋市社会福祉協議会会長から感謝状が贈呈されました。



地域支えあい事業とは…

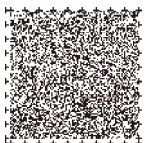
ゴミ出し、蛍光灯の取り替えなどのちょっとした困りごとや介護に関する悩みなどをみなさんの身近な場所で気軽に相談し、ボランティアや関係機関・専門職が連携をして問題解決を図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指した事業です。

現在中川区内では、小学校区を単位に相談窓口が設置され7学区が実施しています。

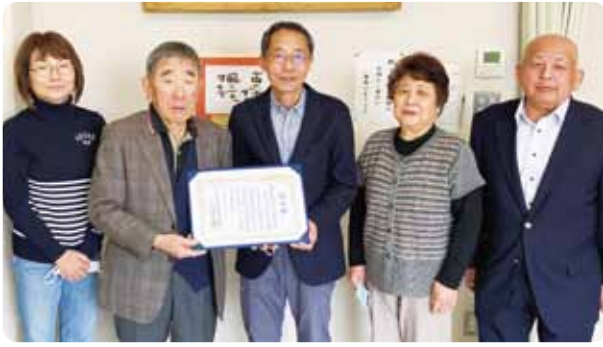
学 区	窓 口 開 設	窓 口 電 話
常 磐	毎週水曜日・金曜日 9:00～12:00 (常磐コミュニティセンター)	070-5332-1255
千音寺	毎週火曜日 10:00～13:00 (富田北地域センター) 毎週木曜日 10:00～13:00 (千音寺荘第1集会所)	070-5336-1266
昭和橋	毎週月曜日・木曜日 9:00～12:00 (昭和橋コミュニティセンター)	070-5336-1244
八 幡	毎週水曜日・金曜日 13:00～16:00 (八幡コミュニティセンター)	070-5338-8011
五反田	毎週水曜日・金曜日 9:00～12:00 (五反田コミュニティセンター)	070-5331-7222
中 島	毎週水曜日・金曜日 9:00～12:00 (中島公民館)	080-4182-9690
戸 田	毎週水曜日・金曜日 9:45～12:30 (富田地区会館)	090-6392-3306

実施学区では、学区住民の皆さんの相談を今か今かと心待ちにしています。また、一緒にボランティアをする仲間も随時募集中!ご興味のある方は、ぜひ窓口または電話連絡にてお待ちしております。(窓口開設時間帯のみ対応)

この事業は、身近な地域で相談できるように中川区全域に進めております。事業に関するお問い合わせは、中川区社会福祉協議会までご連絡ください。



常磐学区



常磐学区では、老人クラブと連携した子どもの見守りや、青パトを使用している子どもの見守りを日頃から行っています。また、木の枝打ちや草取りなどのご依頼があれば「木こり部隊」と称する男性ボランティアを中心に活動しています。

長良八剣社で第3水曜日に開かれている「お宮さろん」では、支えあい相談窓口も同時開設し、お越しになったみなさんがお茶を飲みお話ししながら、ちょっとした困り事を相談できる場にもなっ

ています。(令和3年5月現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりお宮さろん休止中)

地域支えあい相談窓口が設置されたことにより、地域住民との繋がりと関係機関の専門職との繋がりが増え、情報共有がしやすくなり学区全体で支援ができるようになったとご近所ボランティアコーディネーターの声も。民生委員児童委員さんからの相談も相談窓口で話し合いをすることによって、安心して支援ができるようになったとのこと。

昭和橋学区

昭和橋学区では、子どもの見守りとして朝のあいさつ運動や、一人ではゴミ出しが難しい高齢者のゴミ出しなどを行うなど継続的に生活支援活動しています。

地域支えあい相談窓口が設置され、偶数月第3金曜日(昭和橋コミュニティーセンター)、奇数月第4金曜日(パストラルハイム)で高齢者サロン「なごやかカフェ」が開催されるようになりました。来ていただいた高齢者の方と一緒に体操を行ったり、お茶を飲んで和やかに過ごせる場所となり、昭和橋学区内の交流の場が増えました。

窓口が設置されてから、ご近所ボランティアコーディネーターが福祉専門職のつなぎ役にもなり、地域の困り事を専門職と連携して活動できるようになりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により保留となっていますが、学区内の高齢者が多い地域での実態調査も行っており、自治会等と協力して交流会も検討しています。



千音寺学区



千音寺学区では、高齢者や障がい者世帯の見守りを含めた傾聴やゴミ出し、小修繕など様々な相談に対応し、自分たちで解決できないことは関係機関等を紹介するなどボランティア同士で協力しながら活動を行っています。

市営千音寺荘集会所で実施されている、喫茶サロン「せんのんじ」では、交流のみならず、野菜や生け花の移動販売、薬局による血圧測定等も行われており、住民の生活支援にもつな

がっています。現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりサロンは休止していますが、感染防止対策を講じながら再開できる日をみなさん心待ちにしています。

活動をはじめてから6年が経ち、ご近所ボランティアコーディネーターからは「住民同士で助けあい、互いに気にかけて合うようになった」など地域支えあい活動を通じたつながりや新たな助け合いがうまれています。



正色学区 連絡協議会

生活安全委員会で

様々な取り組みが始まっています!



スマートフォンを持って 昔の下之一色を回想しませんか?

正色学区連絡協議会では、令和2年4月、学区の魅力向上等を目的として「生活安全委員会」を立ち上げました。
現在、下之一色は、区役所、警察署、消防署、消防団などのインフラ整備、魚市場の移転などにより、これまで下之一色町の風景が一変しつつあります。ここで、皆さんと一緒に昔の下之一色を思い出してみませんか。昔の下之一色町の風景として、以下の取り組みを実施することになりました。協賛は随時です。皆さま、お越しください。
また、何かお気づきの点がございましたら、事務局の皆さままでご連絡ください。



正色学区では令和2年4月に学区の魅力向上等を目的として「生活安全委員会」が立ち上がりしました。スマートフォンを活用し、インターネット上で昔懐かしい下之一色町の写真が見られる「町案内」やホームページの作成、住民同士が助け合うボランティア活動隊や登下校見守り隊の編成、移動スーパーと連携した買い物支援等様々な取り組みが実施されています。

下之一色町はかつて漁師町でした。学区内に残っていた魚市場は令和3年3月13日にこれまでの歴史に幕を閉じ、建屋は撤去されました。そういった時代の大きなうねりのなかで、有志が集まり、毎月、正色コミセンで生活安全委員会の会議が開催され、地域のためになり、そして自分のためにもなる、いろいろな活動について話し合われています。

正色学区 生活安全委員会
ホームページはこちらから



令和3年度 サマーボランティアスクールは中止します

サマーボランティアスクールとは、夏休み期間中に中高生を対象に実施し、福祉施設でのボランティア体験を通して、福祉に関心を持ち、ボランティア活動のきっかけづくりを目的とした、



毎年200名ほどの参加をいただいている事業です。今年度の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、残念ながら中止となりました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみて実施の可否を判断する予定です。開催する場合は、多くの方のご参加をお待ちしております。



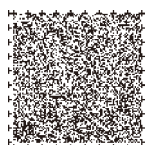
寄付のお礼

寄付金および寄付物品は、中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。(令和3年2月～4月)

- 北川芳次 様
- 株式会社中京銀行 様

〈事業者の皆さまへ〉
社会貢献の一環として、寄付金の他、地域のイベント等で使用させていただく物品やお菓子のご寄付も募っています。
ご関心のある事業者の皆さま、ご連絡お待ちしております。



編集・発行

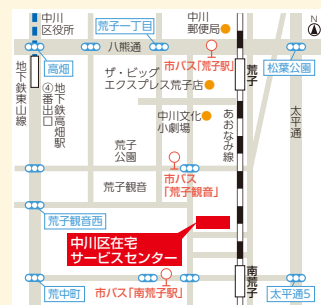
社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

〒454-0875 名古屋市中川区小堀町1丁目1-20(中川区在宅サービスセンター内)

TEL (052) 352-8257
FAX (052) 352-3825

メールアドレス
nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページ
http://www.nakagawashakyo.jp

区内のイベントやボランティア情報案内、
研修室の貸出などを行っています。
お気軽にお問い合わせください!



＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。